

【表紙】

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年4月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第54期第1四半期（自 2018年12月1日 至 2019年2月28日） |
| 【会社名】 | 株式会社キューソー流通システム |
| 【英訳名】 | K.R.S.Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 西尾 秀明 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都調布市調布ヶ丘三丁目50番地1 |
| 【電話番号】 | 042(441)0711(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役経営推進本部長 笹島 朋有 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都調布市調布ヶ丘三丁目50番地1 |
| 【電話番号】 | 042(441)0711(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役経営推進本部長 笹島 朋有 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第53期 第1四半期連結 累計期間 | 第54期 第1四半期連結 累計期間 | 第53期 |
|--------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自2017年 12月1日 至2018年 2月28日 | 自2018年 12月1日 至2019年 2月28日 | 自2017年 12月1日 至2018年 11月30日 |
| 営業収益 (百万円) | 39,932 | 41,009 | 169,155 |
| 経常利益 (百万円) | 556 | 751 | 4,822 |
| 親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円) | 251 | 359 | 2,331 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 320 | 423 | 2,467 |
| 純資産額 (百万円) | 36,677 | 38,644 | 38,550 |
| 総資産額 (百万円) | 73,157 | 81,076 | 82,517 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益 (円) | 20.20 | 28.94 | 187.60 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 46.4 | 43.8 | 42.9 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しなどにより、景気は緩やかに回復しました。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、金融資本市場の変動の影響などにより、先行きは不透明感を増しております。

食品物流業界におきましては、燃料調達単価の再上昇や、人手・車両不足、法改正への対応、食の安全・安心に応える物流品質向上への投資など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「持続的成長への挑戦」をテーマに掲げ、「新領域の創出による成長」「機能の強化と拡充」「選ばれる企業価値の創造」の3つを基本方針とした、中期経営計画（2019年度から2021年度）を推進しております。

中期経営計画の初年度となる2019年度は、大型投資による減価償却費の増加が見込まれるなか、持続的成長に向け目標を確実に達成させる年として、収益力の強化、無人化・省力化への挑戦、輸送力の確保、働きやすい職場環境づくりに取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益は410億9百万円と前年同期に比べ10億77百万円（2.7%増）の増収、営業利益は7億38百万円と前年同期に比べ1億91百万円（34.9%増）、経常利益は7億51百万円と前年同期に比べ1億95百万円（35.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億59百万円と前年同期に比べ1億8百万円（43.3%増）の増益となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

共同物流事業収益は、食品メーカーなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりました。利益面は、既存取引減少による利益減や運送コストなどの増加影響を受けたものの、新規・既存拡大にともなう利益増に加え、運送業務の合理化や保管の効率化などが進捗しました。

この結果、共同物流事業収益は271億51百万円と前年同期に比べ6億60百万円（2.5%増）の増収、営業利益は3億8百万円と前年同期に比べ95百万円（45.0%増）の増益となりました。

専用物流事業収益は、既存取引が拡大し増収となりました。利益面は、既存取引減少による利益減や労務費などの増加影響を受けたものの、適正料金の収受および運送業務の合理化などが進捗しました。

この結果、専用物流事業収益は123億86百万円と前年同期に比べ21百万円（0.2%増）の増収、営業利益は3億5百万円と前年同期に比べ1億21百万円（66.2%増）の増益となりました。

関連事業収益は、車両販売台数などの増加により増収となりました。利益面は、減価償却費などの増加影響を受けました。

この結果、関連事業収益は14億71百万円と前年同期に比べ3億94百万円（36.7%増）の増収、営業利益は1億15百万円と前年同期に比べ32百万円（21.8%減）の減益となりました。

(2) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億41百万円減少し、810億76百万円となりました。資産の減少の主な要因は、有形固定資産の増加18億7百万円はありましたが、受取手形及び営業未収入金の減少22億66百万円、現金及び預金の減少9億81百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億34百万円減少し、424億32百万円となりました。負債の減少の主な要因は、短期借入金の増加8億57百万円、長期借入金の増加8億56百万円はありましたが、支払手形及び営業未払金の減少20億94百万円、未払法人税等の減少6億73百万円および未払費用等の減少による流動負債その他の減少3億27百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、386億44百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加86百万円などによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 36,600,000 |
| 計 | 36,600,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年2月28日) | 提出日現在発行数(株) (2019年4月12日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|--|
| 普通株式 | 12,677,900 | 12,677,900 | 株式会社東京証券取引所 (市場第一部) | ・権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 ・単元株式数100株 |
| 計 | 12,677,900 | 12,677,900 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数 増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増減 額(百万円) | 資本準備金残 高(百万円) |
|---------------------------|-------------------|------------------|-----------------|----------------|-------------------|------------------|
| 2018年12月1日～ 2019年2月28日 | - | 12,677,900 | - | 4,063 | - | 4,209 |

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2018年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年2月28日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 249,400 | - | 権利関係に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 12,424,700 | 124,247 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 3,800 | - | 同上 |
| 発行済株式総数 | 12,677,900 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 124,247 | - |

【自己株式等】

2019年2月28日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|-----------------|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社キューソー流通システム | 東京都調布市調布ヶ丘三丁目50番地1 | 249,400 | - | 249,400 | 1.97 |
| 計 | - | 249,400 | - | 249,400 | 1.97 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2018年12月1日から2019年2月28日まで）及び第1四半期連結累計期間（2018年12月1日から2019年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年11月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,545 | 3,563 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 19,560 | 17,293 |
| 商品 | 93 | 98 |
| 貯蔵品 | 112 | 138 |
| その他 | 1,504 | 1,423 |
| 貸倒引当金 | 129 | 128 |
| 流動資産合計 | 25,686 | 22,388 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 11,077 | 11,174 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 9,989 | 10,240 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,088 | 1,153 |
| 土地 | 21,492 | 21,492 |
| リース資産(純額) | 2,525 | 2,488 |
| 建設仮勘定 | 968 | 2,398 |
| 有形固定資産合計 | 47,141 | 48,949 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,341 | 2,264 |
| 敷金及び保証金 | 3,810 | 3,802 |
| その他 | 2,170 | 2,359 |
| 貸倒引当金 | 52 | 52 |
| 投資その他の資産合計 | 8,270 | 8,374 |
| 固定資産合計 | 56,830 | 58,687 |
| 資産合計 | 82,517 | 81,076 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年11月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 14,366 | 12,271 |
| 短期借入金 | 4,747 | 5,604 |
| 未払法人税等 | 912 | 238 |
| 賞与引当金 | 920 | 931 |
| 役員賞与引当金 | 60 | 19 |
| その他 | 7,986 | 7,659 |
| 流動負債合計 | 28,994 | 26,725 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,664 | 11,521 |
| 退職給付に係る負債 | 804 | 700 |
| 資産除去債務 | 903 | 904 |
| その他 | 2,600 | 2,581 |
| 固定負債合計 | 14,972 | 15,707 |
| 負債合計 | 43,966 | 42,432 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,063 | 4,063 |
| 資本剰余金 | 4,209 | 4,209 |
| 利益剰余金 | 27,499 | 27,586 |
| 自己株式 | 361 | 361 |
| 株主資本合計 | 35,411 | 35,497 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 734 | 683 |
| 繰延ヘッジ損益 | 9 | 9 |
| 為替換算調整勘定 | 94 | 88 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 809 | 775 |
| その他の包括利益累計額合計 | 9 | 13 |
| 非支配株主持分 | 3,129 | 3,159 |
| 純資産合計 | 38,550 | 38,644 |
| 負債純資産合計 | 82,517 | 81,076 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

| | 前第 1 四半期連結累計期間 (自 2017年12月 1 日 至 2018年 2 月28日) | 当第 1 四半期連結累計期間 (自 2018年12月 1 日 至 2019年 2 月28日) |
|------------------|--|--|
| 営業収益 | 39,932 | 41,009 |
| 営業原価 | 38,233 | 39,040 |
| 営業総利益 | 1,699 | 1,968 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,152 | 1,230 |
| 営業利益 | 546 | 738 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 受取配当金 | 1 | 9 |
| 受取賃貸料 | 14 | 14 |
| 持分法による投資利益 | 1 | - |
| 補助金収入 | 2 | 2 |
| デリバティブ評価益 | 3 | 7 |
| その他 | 22 | 22 |
| 営業外収益合計 | 47 | 58 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 26 | 26 |
| 貸与設備諸費用 | 8 | 11 |
| 持分法による投資損失 | - | 3 |
| その他 | 3 | 2 |
| 営業外費用合計 | 37 | 44 |
| 経常利益 | 556 | 751 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 15 | 4 |
| 投資有価証券売却益 | 8 | - |
| 特別利益合計 | 23 | 4 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 21 | 25 |
| その他 | 2 | - |
| 特別損失合計 | 24 | 25 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 555 | 730 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 359 | 288 |
| 法人税等調整額 | 117 | 7 |
| 法人税等合計 | 241 | 281 |
| 四半期純利益 | 313 | 449 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 62 | 89 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 251 | 359 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 313 | 449 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 53 | 52 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | 7 | 7 |
| 退職給付に係る調整額 | 51 | 34 |
| その他の包括利益合計 | 6 | 25 |
| 四半期包括利益 | 320 | 423 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 258 | 337 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 62 | 86 |

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社グループが、下記の会社の借入金に対し保証をしております。なお、エイ・ケイ・フランチャイズシステム株式会社に対する保証については、再保証を行っているため、当社グループの保証額を記載しております。

| | 前連結会計年度 (2018年11月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日) |
|-----------------------|--------------------------|------------------------------|
| エイ・ケイ・フランチャイズシステム株式会社 | 30百万円 | 35百万円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 892百万円 | 973百万円 |
| のれんの償却額 | 13百万円 | 13百万円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 2018年2月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 248 | 20.0 | 2017年11月30日 | 2018年2月23日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 2019年2月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 273 | 22.0 | 2018年11月30日 | 2019年2月25日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2017年12月1日至2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|------------------------|------------|------------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 共同物流 事業 | 専用物流 事業 | 関連事業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 26,491 | 12,364 | 1,076 | 39,932 | - | 39,932 |
| セグメント間の内部営業収益又は 振替高 | 1,972 | 221 | 1,232 | 3,427 | 3,427 | - |
| 計 | 28,464 | 12,586 | 2,309 | 43,359 | 3,427 | 39,932 |
| セグメント利益 | 212 | 184 | 147 | 544 | 2 | 546 |

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|------------------------|------------|------------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 共同物流 事業 | 専用物流 事業 | 関連事業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 27,151 | 12,386 | 1,471 | 41,009 | - | 41,009 |
| セグメント間の内部営業収益又は 振替高 | 2,168 | 226 | 1,060 | 3,455 | 3,455 | - |
| 計 | 29,319 | 12,613 | 2,531 | 44,465 | 3,455 | 41,009 |
| セグメント利益 | 308 | 305 | 115 | 729 | 8 | 738 |

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年2月28日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日) |
|----------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益 | 20円20銭 | 28円94銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円) | 251 | 359 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円) | 251 | 359 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 12,428 | 12,428 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年4月12日

株式会社キューソー流通システム

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福原 正三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐久間 佳之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社キューソー流通システムの2018年12月1日から2019年11月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2018年12月1日から2019年2月28日まで）及び第1四半期連結累計期間（2018年12月1日から2019年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社キューソー流通システム及び連結子会社の2019年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。